



性教育について学びました。

7月27日(月)、令和8年度PTA研修会を行いました。講師には、長崎大学名誉教授の宮原春美先生をお招きし、「特別な配慮が必要な子どもの性発達と支援」と題してご講演いただきました。



研修会には、保護者、教職員に加え、幼稚園、小学校、中学校、壱岐市の関係課、保健所、福祉事業所の方など、多くの方に受講していただきました。
「どう教えたら?」「どこまで教えたら?」など、性教育は分からないことが多いですが、丁寧、かつ具体的にご指導いただきました。

以下は、受講者のアンケートから抜粋

幼い頃から命や性の大切さを伝えていくことが必要に思われ、(矢張り親がいないから!)
発達特性にあわせて伝え方、くり返し伝えていくと、大切だと気づいた。

子供の性的な言動について、特性によるものである背景があること、子どもが話してほしくないことだと思わないように対応が大切であることを知りました。発達に合わせて、子どもが分かるような教え方を考えていかないといけないと思いました。

プライベートゾーンと+αでそれぞれ角虫ってほしくないところもある。そういうことを教える必要性があることも痛感した。低学年だから良いではなく、どの年齢でもどの子でも性教育を指導すること大切だと改めて学びました。

今までプライベートゾーンで周りに聞かなくていいので、今回は勉強になりました。今後は、本日の内容を忘れずに支援に活かしていきたいと思っております。

性に関する話について「タブー視しない」「質問はチャンス!!」ということ、自分の姿勢を見直すきっかけになりました。